

令和7年度 名古屋市認知症セミナー

1 目的

共生社会の実現のために、認知症当事者が社会と関わりを持ち続けるような認知症支援体制づくりが求められている。そのための条件として、医療・介護・福祉の連携が取れていることが不可欠である。

本セミナーでは、令和6年12月に新しく指定された認知症疾患医療センターが行っている「当事者・家族へのサポート」・「専門職同士の連携」を学び、それを踏まえた上でどのような専門職の連携が必要とされているのかについて示唆を得ることを目的とする。

2 主催

名古屋市認知症疾患医療センター、名古屋市、名古屋市認知症相談支援センター

3 日時

令和8年2月26日（木）14：30～17：00（受付開始14：00）

4 場所

名古屋市医師会館 6階 講堂（名古屋市東区葵1-4-38）

5 対象・定員

名古屋市内の医療・介護・福祉関係者 60名（先着順） 参加費無料

6 申し込み方法

「参加申込書」に必要事項を記入の上、**1月30日（金）**までに名古屋市認知症相談支援センターにGoogleフォームでお申ください。（難しい場合は、メール、FAXにてお知らせください）

7 内容

時間	内容
14:00	開場・受付開始
14:30	開会あいさつ（名古屋市）
14:35	<p>○ 基調講演（70分）</p> <p>「偕行会城西病院の取り組み（14：35～15：10）」</p> <p>【講師】錫村 明生 氏（偕行会城西病院 認知症疾患医療センター センター長） 高野 洋子 氏（偕行会城西病院 認知症疾患医療センター 連携担当者）</p> <p>「藤が丘さくらなみきクリニックの取り組み（15：10～15：45）」</p> <p>【講師】山下 功一 氏（藤が丘さくらなみきクリニック 認知症疾患医療センター センター長） 桑原 拓也 氏（藤が丘さくらなみきクリニック 認知症疾患医療センター 連携担当者）</p>
15:45	休憩（10分）
15:55	○ グループワーク（55分）
	「認知症支援体制づくりに向けた専門職の連携について」
16:50	事務連絡・閉会挨拶
17:00	講演会終了

お問い合わせ：名古屋市認知症相談支援センター 長谷川（TEL:052-734-7079）

E-mail：n-renkei@nagoya-shakyo.or.jp

研修会場案内図

【名古屋市医師会館】(東区葵1-4-38)



(公共交通機関のご案内)

- 地下鉄東山線「新栄町」駅下車
2番出口より徒歩5分
- 地下鉄桜通線「車道」駅下車
4番出口より徒歩9分



名古屋市医師会館の入り口からお入りください。
※隣の医師会急病センターとお間違えないよう
ご注意ください。

◇研修会場へは、公共交通機関をご利用ください◇

会場に駐車場はありません。※医師会急病センターには駐車しないようご注意ください。

令和7年度名古屋市認知症セミナー

日時：2026年2月26日(木) 14:30~17:00 (受付：14:00~)

場所：名古屋市医師会館（東区葵1-4-38）

※研修会場へは、公共交通機関をご利用ください。

«申込方法» Googleフォーム

URL : <https://forms.gle/jcS4rJ2dBZxR9a8g9>

二次元コードはこちら



(上記の方法が難しい場合)

○メール：n-renkei@nagoya-shakyo.or.jp <宛先>名古屋市認知症相談支援センター 行き

○FAX：(052)734-7199 <宛先>名古屋市認知症相談支援センター 行き

※申込期間：令和8年1月30日（金）まで（先着順）

フリガナ 氏 名		専門職として の経験年数	年
所属先		所属先の 所在地（区）	区
職 種	(記入例：MSW／看護師／社会福祉士／ケアマネ 等)	電話番号	- - -
メール アドレス	@		

認知症の人の支援に関して他職種で連携したケースや取り組みについて
教えてください。（200字程度）

※当日のグループワークで共有します。個人が特定されるような情報は記入しないでください。

例) 本人の受診拒否があるケース。本人は70代後半で認知症のおそれがあり、初期集中支援チームが介入しているが介護保険サービス等の支援につながっていない。→転倒して骨折したため当医療機関に入院することになった。退院調整を行うためいきいき支援センターに相談した。ケアマネがつき、ヘルパーや訪問看護などの介護保険サービスにつながった。家族、いきいき支援センター等支援機関が集まる担当者会議に出席した。（194文字）

※個人のケースを担当したことがない場合には、他職種で連携した取り組みを教えてください。